

「本市における仮置場から中間貯蔵施設への搬出見通しについて」

Q 質問 学校等施設そしてそれ以外の施設から搬出された除染土壌等は、今後、仮置場に集約され管理されますが、早い時期に、その全てを中間貯蔵施設に搬出できることが理想です。しかし、環境省による輸送調整会議で搬出量などが示され、それを受けた形で本市からの搬出量や搬出スケジュールについても決定されるものと思います。そこで、平成30年度における見通しについて伺います。

答 弁 A 平成30年度における仮置場から中間貯蔵施設への搬出見通しにつきましては、昨年12月5日開催の「第8回輸送連絡調整会議」において、環境省より、本市輸送可能量として、通常輸送分が22,200㎡、学校等輸送分が7,800㎡の合計30,000㎡が示されております。市といたしましては、各地区の仮置場から、搬出する内訳として、通常輸送分は、久之浜、大久地区から10,500㎡、川前地区から5,600㎡、小川地区から2,800㎡、四倉地区から3,000㎡、田人地区から100㎡、調整量200㎡の合計22,200㎡を予定しております。また、学校輸送分として、小川地区から600㎡、田人地区から700㎡、三和地区から6,500㎡の合計7,800㎡を予定しています。

Q 質問 今後の本市仮置場からの除染土壌等の搬出スケジュールについては、中間貯蔵施設用地の取得状況によっても変わってくると思いますが、現在の進捗状況から全量搬出完了の見通しについて伺います。

答 弁 A 本市における仮置場から中間貯蔵施設への全量搬出完了の見通しにつきましては、環境省が、平成28年3月に公表した中間貯蔵施設に係る「当面5年間の見通し」から本市輸送量を推計しますと、平成30年度までには四倉、田人の2地区、平成32年度までには小川地区、平成33年度までには久之浜・大久、川前、三和の3地区の仮置場からの搬出を予定しており、これにより、市内のすべての仮置場からの搬出完了を見込んでいます。

地域に密着した事業が着実に進められています。



いわき駅前第二区画
市道白線補修工事



After



After



平鎌田
小川江筋水利ストック事業



平北白土
局部道路改良工事



After



After

平上高久
ため池側溝改修工事



地域の要望が実現できるように日々活動しています。



久世原地区
現地調査の実施



鳥栖スタジアム
運営状況視察



北九州市
風力発電施設研修



いわきサンシャインマラソン
担当委員長として

あとがき

私には5歳と3歳上の姉がおり、いわゆる「ばっち長男」です。長姉は勉強も運動もできる人でしたので、小学生の時はいつも叱られながら宿題を教してもらいました。中学ではバレー部のキャプテンとして頑張っており、毎日帰りが遅くてなかなか話す機会もありませんでした。私が中学生になった時、姉からバレーを勧められ、それから高専・社会人となっても没頭することとなります。

しかし、長姉は磐女2年の秋の遠足で倒れ、その後亡くなってしまいます。お見舞いにも行かないままの別れでした。今でも心残りです。

今でも辛いことがあると長姉の優しい笑顔思い出し、わたしも負けない笑顔でがんばろうと思っています。

西山かずみのプロフィール

昭和34年9月13日（いわき市平生まれ）
いわきバレーボール協会 副会長／
中神谷スポーツ少年団 顧問

経 歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
29才で総合広告代理店(株)デップを起業

Profile



則子

貴美子